

【最前線を探る 四国地整 7.5億円で最大／今年度8月まで新設設計 オリコン8.8億円トップ】

四国地整7.5億円で最大

今年度8月まで 新設設計 オリコン8.8億円でトップ

今年度4月から8月までの新設橋梁の設計案件発注額（落札日基準）は四国地整が約7.5億円で最も多かった。発注者別では他の地整や高速道路会社が上位に並んだが、東京都や北海道など約3億円前後まで発注額を伸ばした自治体もあった。一方、同期間の新設設計の企業受注ではオリエンタルコンサルタンツが約8.8億円でトップ、長大、大日本コンサルタンツが小差で追う展開となっている。（金額は暫定、本紙独自調査）

最前線を探る

8月までの新設設計発注額上位
(各機関別) (単位:百万円)

発注者	金額
四国地整	750
沖縄総合事務局	698
近畿地整	625
北海道開発局	479
九州地整	473
西日本高速	456
関東地整	425
東京都	390
北海道	381
群馬県	329
福岡県	285
東北地整	288
鹿児島県	267
中部地整	228
山梨県	216

今年度当初から8月末までで、沖縄総合事務局の約5.9億円で、全国で最大の発注額となった。新設橋梁の設計発注額は約6.2億円などとなった。発注者別では、四国地整が約7.5億円で最大、次ぎ設計案件の合計発注額は約7.5億円であった。補修設計や点検業務など、設計案件の大半が新設設計であった。主なものは、高知中央ICランプ橋2件、津田大橋、五台山第4高架橋などいずれも約0.9億円。沖縄総合事務局も設計案件合計は約8.7億円のうち8割に当たる約7.9億円が新設設計だった。小禄道路、那覇北道路など

計5件が1億円超の大型案件だった。近畿地整は足羽川ダム付替橋4号橋と新宮紀宝道路橋梁が約1.1億円、国道165号原川1号橋が約0.71億円、大野油坂道路天頭谷橋など

8月までの新設設計受注企業上位
(単位:百万円)

企業名	金額
オリエンタルコンサルタンツ	886
長大	851
大日本コンサルタンツ	800
エイト日本技術開発	338
建設技術研究所	334
パンフィックコンサルタンツ	334
三井共同建設コンサルタンツ	333
八千代エンジニアリング	310
ドーコン	257
中央コンサルタンツ	218
中央復建コンサルタンツ	210
四国建設コンサルタンツ	207
復建技術コンサルタンツ	193
協和設計	165
北海道土木設計	144

3件で計約1億円。北海道開発局は国道5号関連の7件で計約1.4億円、北海道横断道2件で約0.5億円。群馬県は上信自動車道吾妻東バイパス4件(計約

1.8億円)、同西バイパス2件(計約0.3億円)など。同期間の新設設計の企業受注ではオリエンタルコンサルタンツ、長大、大日本コンサルタンツの3社がいずれも約8億円前後(他を大きくリードしている。設計案件全体の受注額でもこの3社のみが10億円を超えている状況だ。今年度も半期が経過し、今後の事業動向にますます注目が集まっている。